

ハイベース工法 総合施工マニュアル

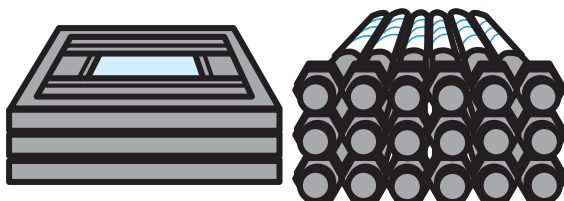
H I B A S E NEO

スーパーハイベース Super HIBASE



鉄骨造・鋼管コンクリート造柱用
露出型固定柱脚工法

ハイベース工法^(※)は
鉄骨工事の要！
より良い施工の為に
御協力をお願い致します。



※ハイベース工法とはハイベースNEO工法とスーパーハイベース工法を指します。

施工範囲

元請工事範囲	1		2		5		7	8	9	10	
	打設	捨てコンクリート	墨出し		鉄筋配筋・ 型枠の建込み		基礎 コンクリート 打設	上部形板の 取り外し・処分	中心塗り部分 モルタル施工 (マンジユウ)	鉄骨建方・ アンカーボルト 締め付け	
ハイベース 工事範囲			3	4	6						11
			アンカーボルト・ 部材搬入	アンカーボルト 据付け	形板芯 見直し作業※1						アンカーボルト 締め付け確認※2 モルタル注入 モルタル注入 設置・ モルタル注入

※1 エコタイプはオプションとなります。

※2 GH、BS、BC型は、モルタル注入後、中2日以上空けてからの締付けとなります。

センクシア株式会社

元請殿工事範囲



ハイベース工事範囲



1

捨てコンクリート打設



アンカーボルト据付け部分はアンカーボルト設置用架台を後施工アンカーにて固定する為、**基礎柱形程度の範囲を捨てコン厚さ90mm以上確保**してください。



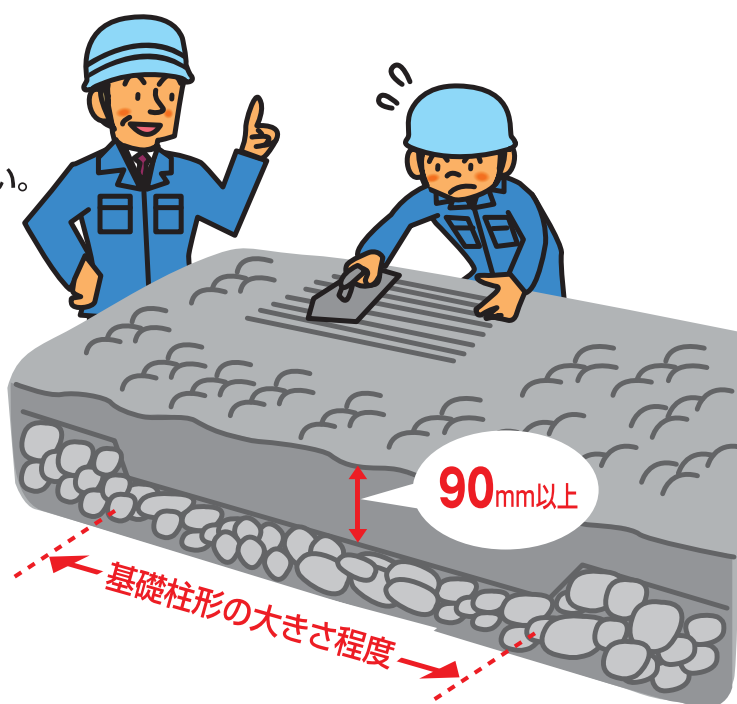
捨てコンを平らにならしてください。



養生期間は**2日間**確保してください。



わき水やたまり水は事前の対策をしてください。

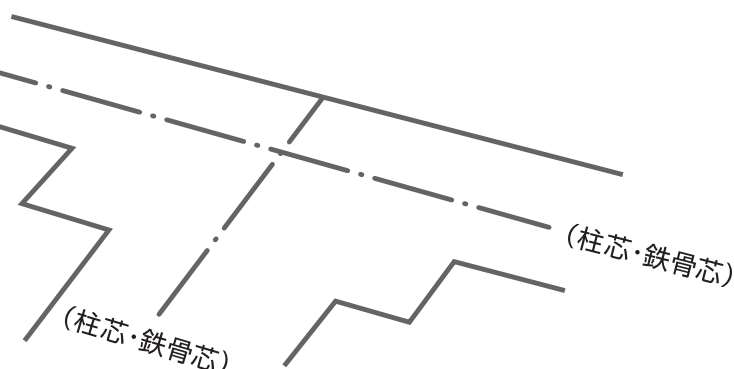


2

墨出し



施工前日までに柱芯(鉄骨芯)の墨出しをお願い致します。



建築施工の現場施工管理者様へのお願い



注
意

ハイベース工事は建築施工者様・鉄骨業者様とセンクシアの認定施工業者が共同で行う工事です。工事の実施にあたり、特に次の点をご確認ください。

- アンカーボルトを据付ける際、**【4-1】「アンカーボルトの位置（据付け芯・高さ）の指示」**および**【4-2】「据付け後の精度確認」**は**建設会社の工事管理者様が必ず行ってください**。ハイベース施工者は、その指示に従うものとします。
- アンカーボルト設置の現場施工は**センクシアの認定施工業者**が行います。
【4】アンカーボルト据付け・【6】形板芯見直し作業・【11】アンカーボルト締付け確認・モルタル注入枠設置・モルタル注入
- 現場施工にあたっては、設計図添付用の「ハイベースNEO工法設計施工標準図」または「スーパーハイベース工法設計施工標準図」をご参照ください。
- ベースプレートの孔拡大はできません。

※ハイベースNEO、スーパーハイベースはセンクシアの登録商標です。本カタログ内容の全部、または一部を無断で複製・転載することは禁止されています。

3

アンカーボルト・部材搬入



アンカーボルト・部材を受け取り、保管をお願い致します。

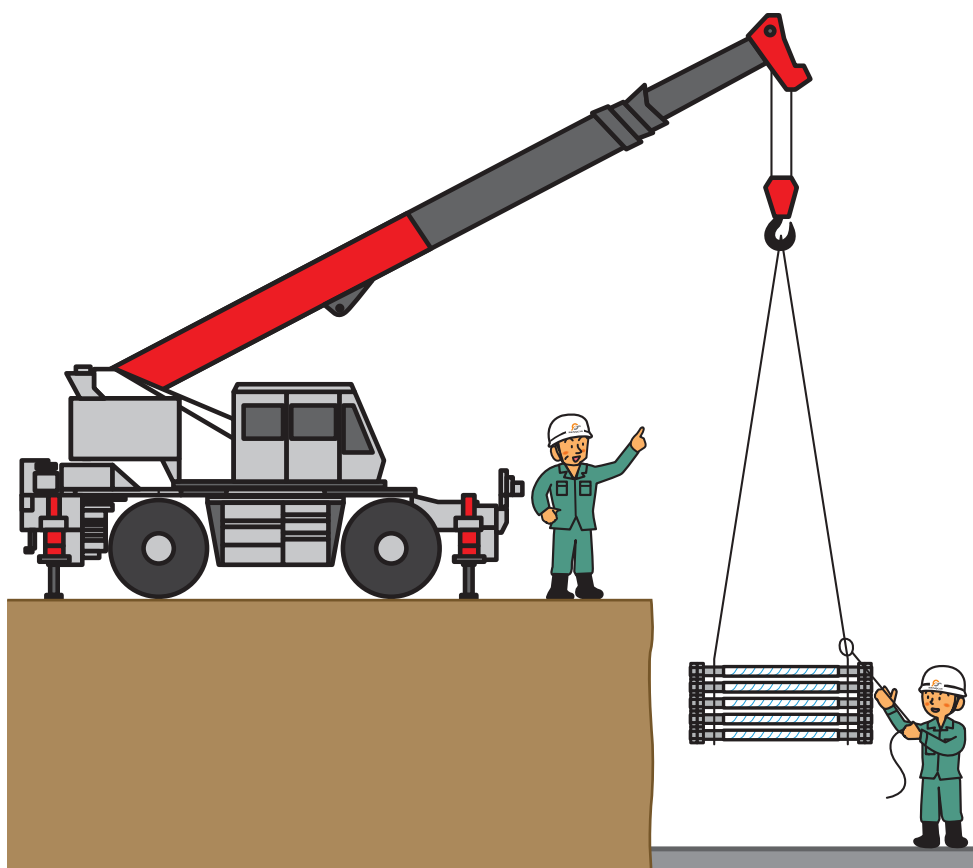


パレットの処分をお願い致します。



揚重機のご支給をお願い致します。

よろしく
お願いします



ボルト一本あたりの全長と重量

ねじの呼び	全長 (mm)	重量 (kg)
	※1	※2
M24	550	5
	645	
M30	580	8
	800	
M36	690	11
	925	
	955	
M42	1080	18
	1110	
M48	1235	30
	1270	
M56	1420	41
	1470	
M64	1610	56
	1660	
M72	1850	83

※1 M24～M36の上段はEB型とEM型の4本タイプの場合の寸法です。

・M24～M30の下段、M36の中段、M42～M64の上段はそれ以外のエコタイプ及びGB型、GM型、BC型、SRCタイプの場合の寸法です。

・M24～M64の下段はGH型、B5型の場合の寸法です。

※2 座金、定着板、形板の重量は含みません。

※ 型式により、4本、8本、12本タイプとありますので、総重量はハイベース工法総合カタログP11～16をご参照ください。

4

アンカーボルト据付け

4-1

施工当日の再確認



施工前に最終図面にてレベル、鉄骨芯を確認させてください。



ベンチマーク（基準レベルポイント）の指示をお願い致します。



アンカーボルト据付け位置の指示をお願い致します。



足場および昇降設備のご支給をお願い致します。

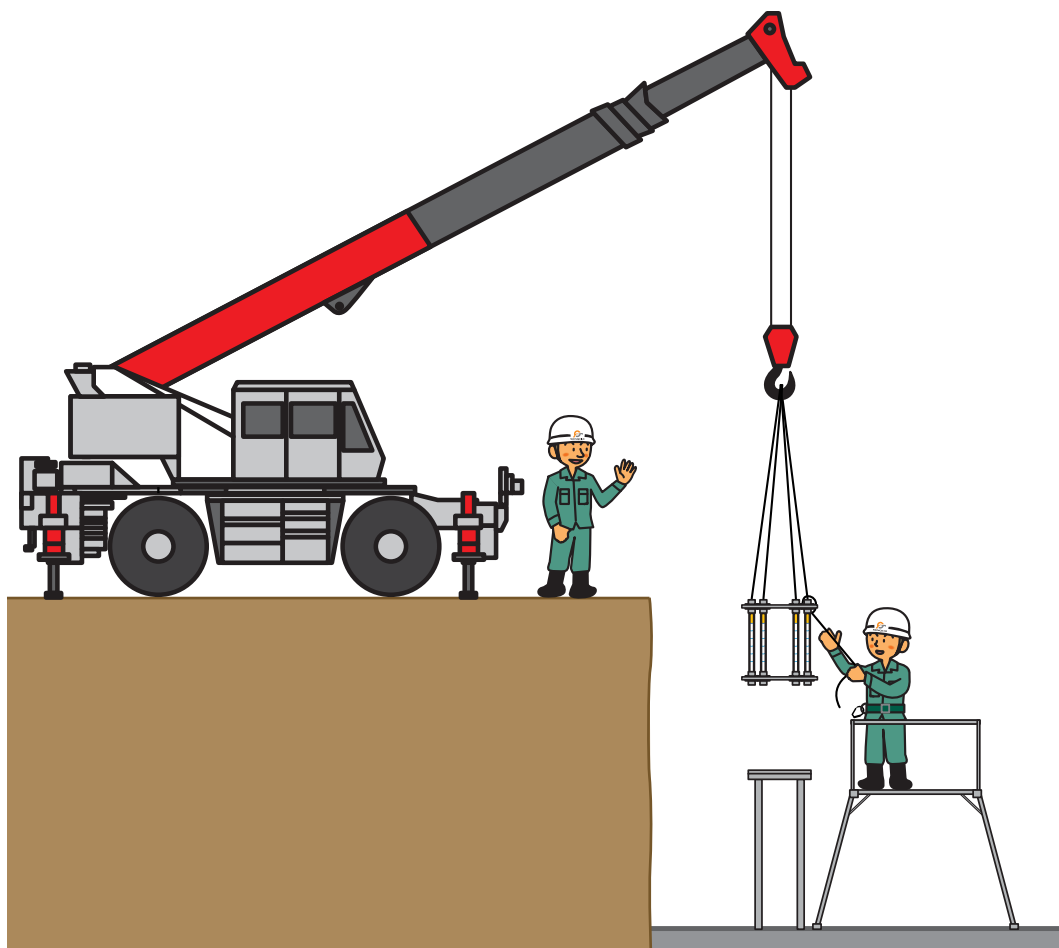


揚重機のご支給をお願い致します。



注意

- 杭を使用する場合、地下室のある現場等で標準的なアンカーボルト据付け方法以外を採用する場合は、当事者間（施工管理者様、設計者様等）で協議し決定します。
- アンカーボルト設置の現場施工は、**センクシアの認定施工業者**が行います。



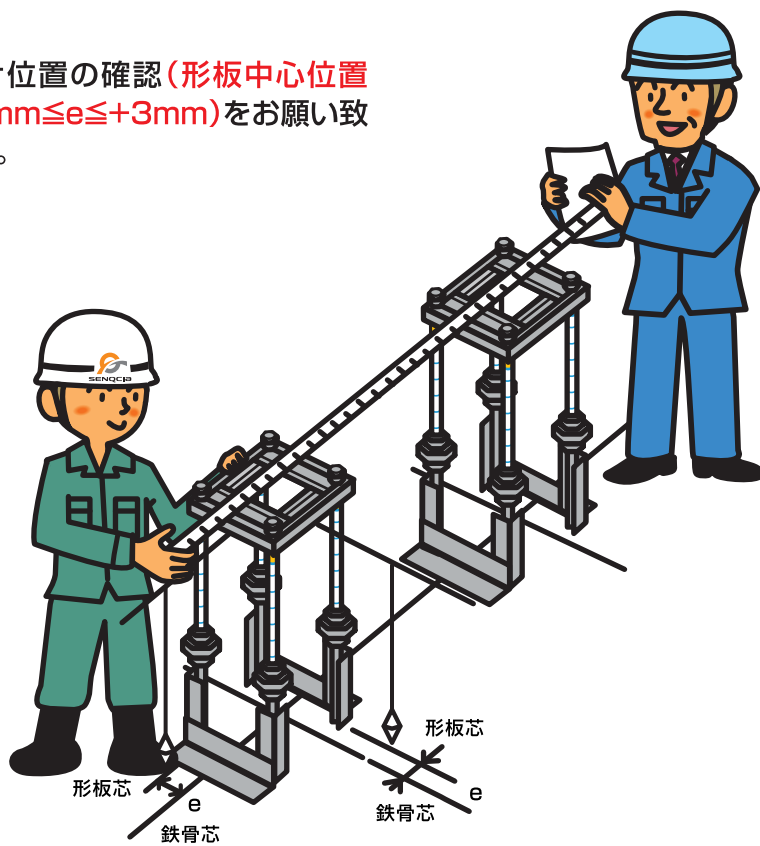
4-2

アンカーボルト据付け完了後、 据付け位置の確認・アンカーボルト天端のレベル確認



据付け位置の確認(形板中心位置
 $e: -3\text{mm} \leq e \leq +3\text{mm}$)をお願い致します。

OK

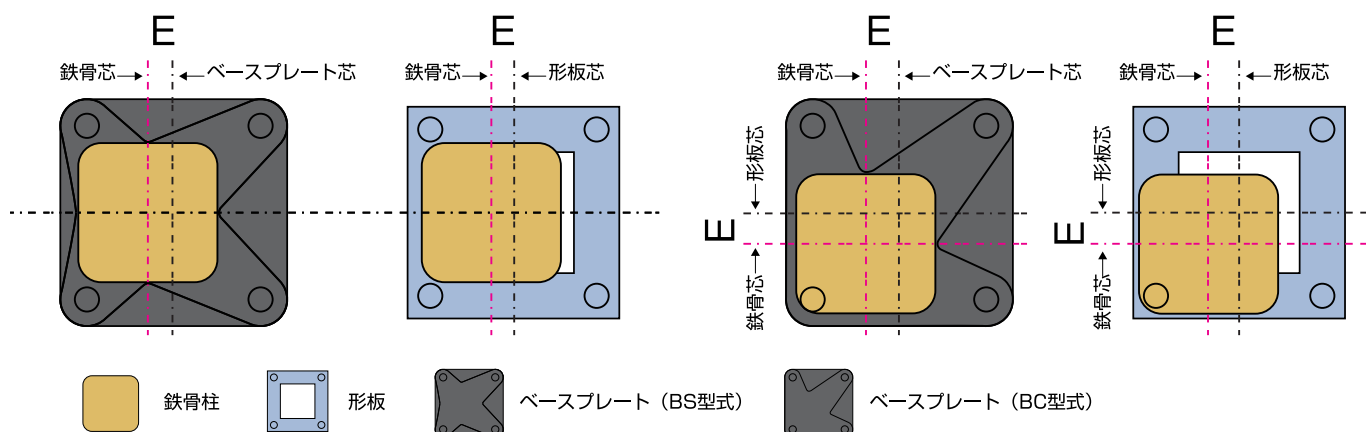


注意

BS型式(一方向偏心タイプ)とBC型式(二方向偏心タイプ)は、鉄骨芯に対し形板芯が偏心しています。偏心量、偏心方向を十分に注意してご確認をお願い致します。

BS型式 (一方向偏心タイプ)

BC型式 (二方向偏心タイプ)

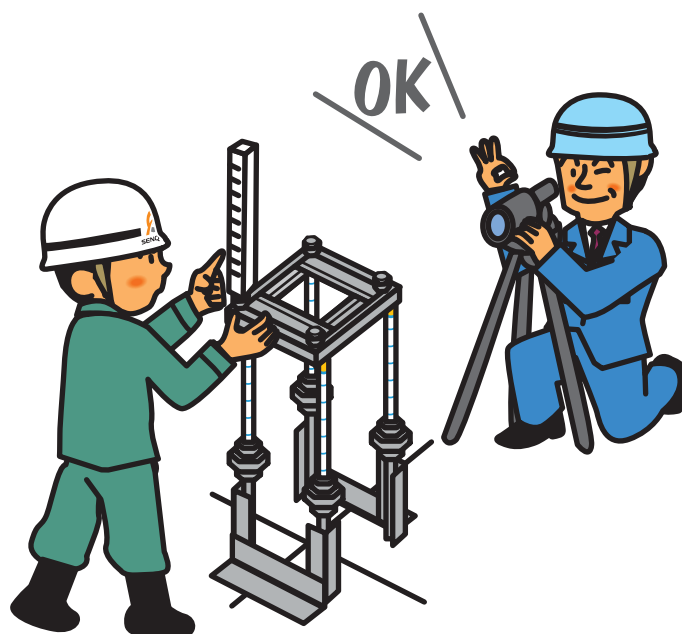


偏心タイプの偏心量 (E)

柱サイズ	□200	□250～□300	□350～□450	□500～□700
偏心量E (mm)	30	40	50	60



アンカーボルト天端のレベルの確認
 認(-3mm≤標準高さ≤+10mm)
 をお願い致します。



型式の確認・据付位置の確認・
 アンカーボルト天端のレベル確認
 後、工事完了書に確認印を捺印し
 てください。

チェックを
 お忘れなく



5

鉄筋配筋・型枠の建込み



形板、アンボンドスリーブは、
 取り外さないでください。



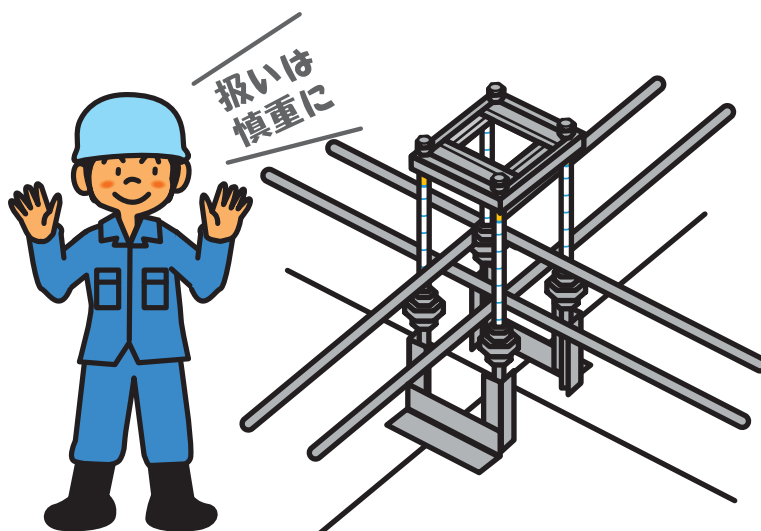
形板の上に乗らないでくだ
 さい。



ナットを緩めたり、アンカー
 フレームを溶断しないでく
 ださい。



アンカーボルト、アンカーフ
 レーム、形板に鉄筋・スペ
 ーサ等を結束しないでください。



注意

アンカーボルトおよびナットは、**加熱・溶接・加工は絶対に行わないでください。**
 所定の性能が発揮できなくなります。
 形板は取り外さないでください。**形板を取り外すと精度が確保できなくなる可能性があります。**

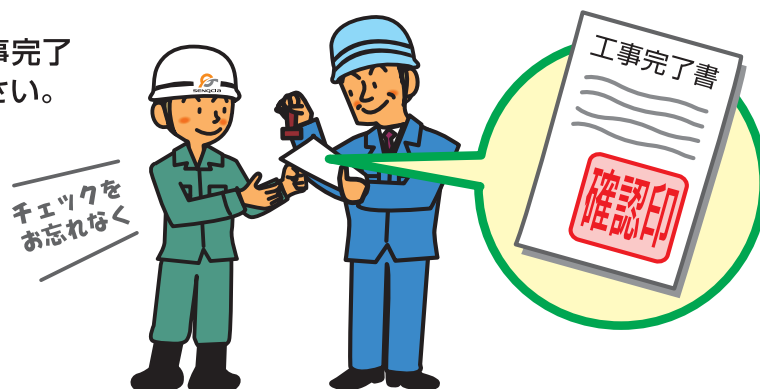
6 形板芯見直し作業



形板芯の修正量と方向をご指示
ください。



形板芯見直し作業*後、工事完了
書に確認印を捺印してください。



※エコタイプはオプションとなります。



形板芯見直し作業は**センクシアの認定施工業者**が行います。測量業者の合番作業をお願い致します。



BS型式(一方向偏心タイプ)とBC型式(二方向偏心タイプ)は、鉄骨芯に対し形板芯が偏心しています。偏心量、偏心方向を十分に注意してご確認をお願い致します。

ベースプレートのアンカーボルト孔径

(mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ	38	44	50	57	—	—	—	—
Gタイプ	—	38	45	53	61	70	79	87
偏心タイプ SRCタイプ	29	36	43	49	56	65	74	—

※SRCタイプはM30とM42のみ。

7

基礎コンクリート打設



形板の上に乗らないでください。

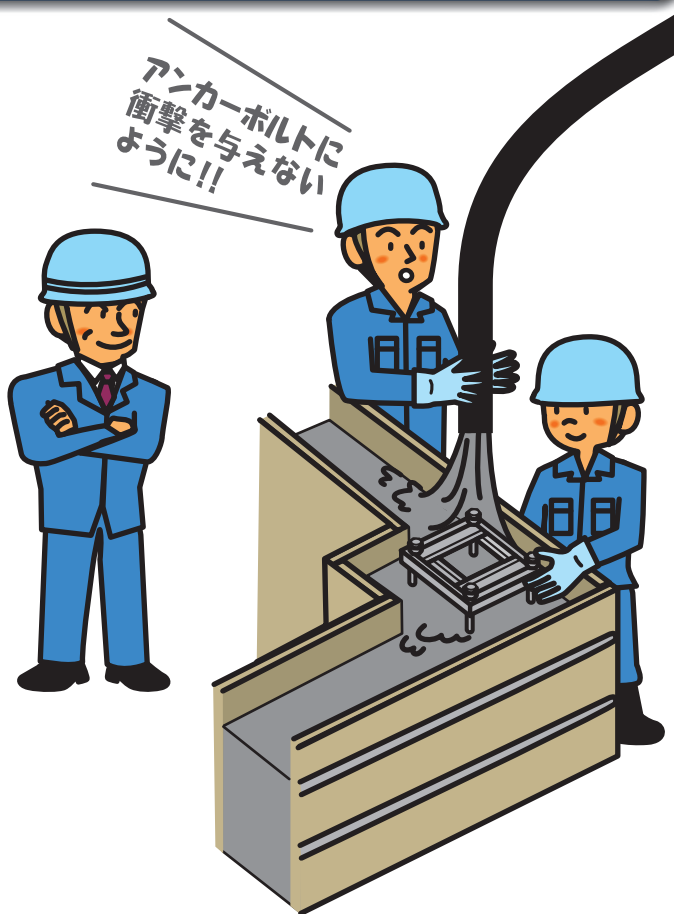


柱形部の打設は、コンクリートの横打ちにならないように、柱中心部真上から打設ください。



アンカーボルトにバイブレータを接触させないでください。

アンカーボルトに
衝撃を与えない
ように!!



注意

柱形部の打設は、コンクリートの横打ちにならないようにご注意ください。アンカーボルトにバイブレータを接触させないでください。アンカーボルトの精度が保てなくなる可能性があります。

8

上部形板の取り外し・処分



基礎コンクリート打設後、上部形板を取り外す前に、上部形板のケガキ線を使用して、ボルト芯精度をご確認ください。



上部形板を取り外してください。取り外し後はナット・座金を紛失しないよう保管をお願い致します。



形板芯見直し作業時に使用したヤラズ材を取り外してください。

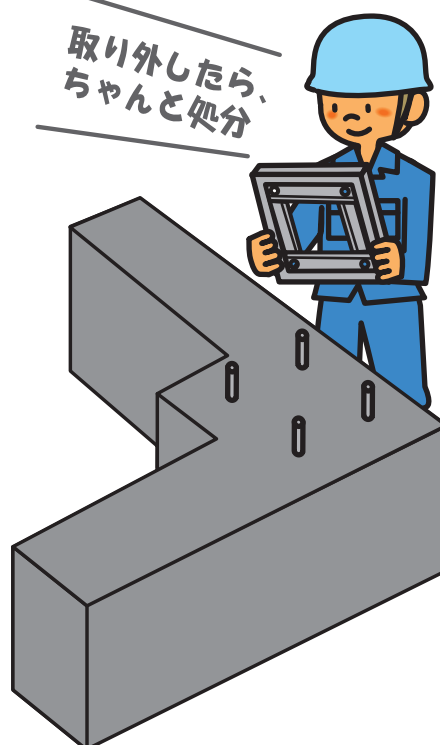


上部形板・ヤラズ材の処分をお願い致します。



柱形上面の目荒らしをお願い致します。

取り外したら、
ちゃんと処分



9

中心塗り部分モルタル施工 (マンジュウ)

中心塗り部分モルタル寸法 (a)



エコタイプ

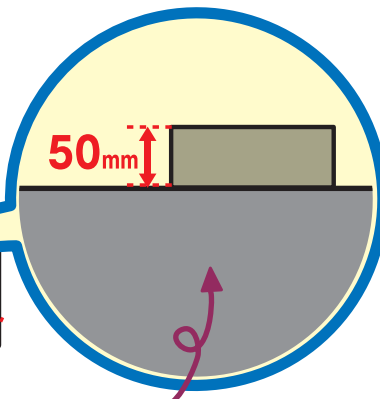
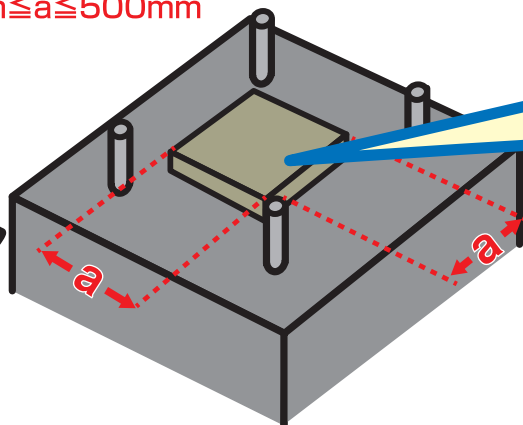
Gタイプ

偏心タイプ

SRCタイプ

- ・□250以下、 ϕ 267.4以下、H250以下の場合
 $100\text{mm} \leq a \leq 200\text{mm}$ かつ柱寸法D以下
- ・□300以上□700以下、 ϕ 300以上 ϕ 711.2以下、H250以上の場合
 $150\text{mm} \leq a \leq 300\text{mm}$ かつ柱寸法D以下
- ・□750以上、 ϕ 750以上の場合
 $300\text{mm} \leq a \leq 500\text{mm}$

- ・X、LL、LR、T型式の場合
 $150\text{mm} \leq a \leq 300\text{mm}$
- ・H型式の場合
 $100\text{mm} \leq a \leq 300\text{mm}$



中心塗り部分モルタルの高さは50mmを標準とします。



鉄マンジュウのみでの使用はできません。
レイタンスの除去および清掃をお願い致します。

10

鉄骨建方・アンカーボルト締付け



鉄骨建方前に柱形上面の清掃をお願い致します。



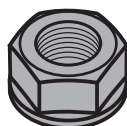
建入れ直し時、ワイヤーの反力をアンカーボルトに取らないようにお願い致します。



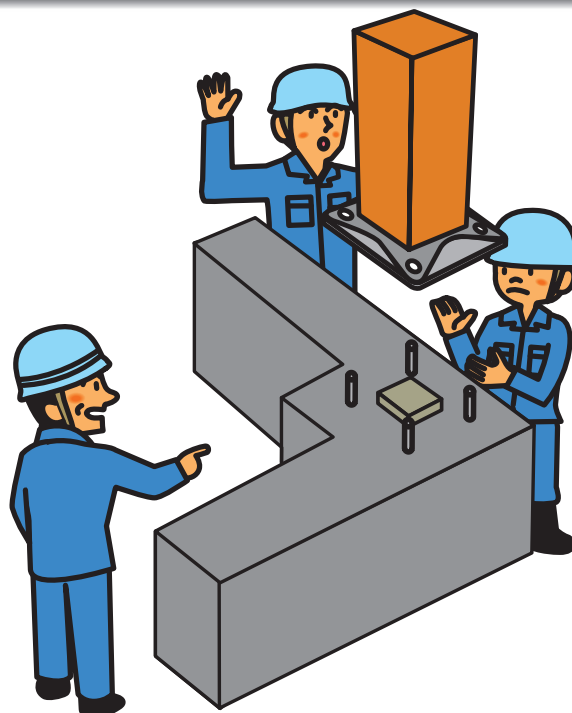
座金の取付けおよびナットの締付けをお願い致します。



エコタイプは必ずエコナット(つば付きナット)を使って鉄骨建方をしてください。



エコナット(つば付きナット)

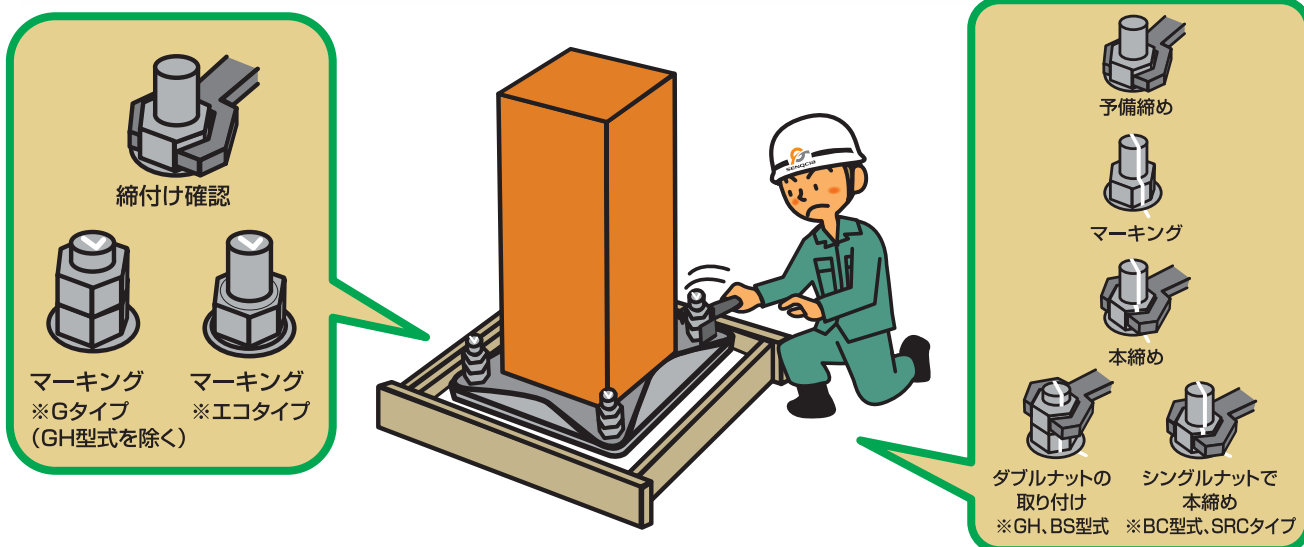


Gタイプはダブルナット仕様ですが、エコタイプはエコナット(つば付きナット)を使ってのシングルナット仕様(BC型式、SRCタイプは強度区分8のナットを使ってのシングルナット仕様)になりますので、不要なナットの処分をお願い致します。

※ダブルナット仕様は強度区分5のナットを使用。

11-1

アンカーボルト締付け確認



注意

エコタイプはエコナット(つば付きナット)を使つてのシングルナット仕様(BC型式、SRCタイプは強度区分8のナットを使つてのシングルナット仕様)になります。
GH、BS、BC型式、SRCタイプは、モルタル注入・硬化後の締付け(予備締め、本締め)となります。

11-2

モルタル注入枠設置・モルタル注入



水道水をご支給ください。



電源(100V)の用意をお願い致します。



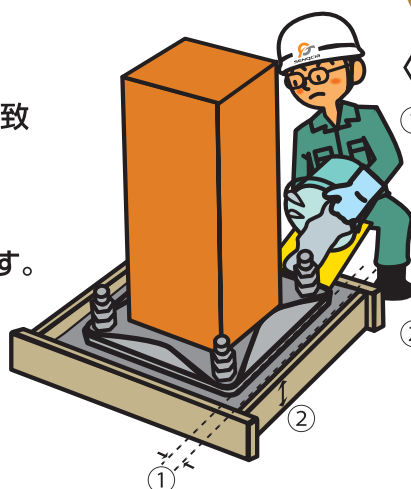
モルタルの養生をお願い致します。



モルタル注入枠の撤去・処分をお願い致します。



- ・モルタル注入作業確認後、工事完了書に確認印を捺印してください。
- ・チェックシートに確認印を捺印してください。



〈モルタル〉

- ①へりあきは
30mm以上とします。
(BS、BC型式、SRCタイプは
50mm以上)
- ②注入の高さは
底面+20mm以上とします。
(BS、BC型式、SRCタイプは
底面+10mm以上)

これで
全工程完了
しました



注意

無収縮モルタルの注入の現場施工、アンカーボルト締付け確認は、**センクシアの認定施工業者**が行います。



注 意

- ハイベース工法はこのマニュアルの他、アンカーボルト標準設置図に従い、施工を行ってください。
- アンカーボルトおよびナットは加熱・溶接・加工は絶対に行わないでください。所定の性能が発揮できなくなります。
- 形板の上に乘らないでください。
- アンカーボルト設置、形板芯見直し作業※、アンカーボルト締付け確認、モルタル注入枠設置、モルタル注入は、センクシアの認定施工業者が行います。

※エコタイプはオプションとなります。



センクシア株式会社

●お問合せ、詳細な資料のご請求は下記の営業担当者までご用命ください。

構造東京本店	〒105-8319 東京都港区東新橋二丁目3番17号(モメント汐留)
	TEL.(03)4214-1932 FAX.(03)3438-1061
札幌支店	〒001-0018 札幌市北区北十八条西五丁目1番12号(3F)
	TEL.(011)708-1177 FAX.(011)708-1178
東北支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目8番13号(大和証券仙台ビル)
	TEL.(022)213-5595 FAX.(022)213-5590
関東支店	〒370-0841 高崎市栄町16番11号(高崎イーストタワー)
	TEL.(027)322-9411 FAX.(027)322-9343
中部支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目17番29号(広小路ESビル)
	TEL.(052)582-3356 FAX.(052)583-9858
北陸支店	〒920-0024 金沢市西念一丁目1番3号(コンフィデンス金沢)
	TEL.(076)233-5260 FAX.(076)233-5262
関西支店	〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目4番30号(ニッセイ新大阪ビル)
	TEL.(06)6395-2133 FAX.(06)6395-2102
中四国支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目1番20号(いよざん広島ビル)
	TEL.(082)240-1630 FAX.(082)240-1606
九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目26番29号(九勤博多ビル8F)
	TEL.(092)452-0341 FAX.(092)452-0350

U R L <https://www.senqcia.co.jp/>
E-Mail kenzai@senqcia.com



センクシアWebサイトから最新版のCADデータおよび
検討プログラムを無償でダウンロードしていただけます。

取扱店